

レジメン名称	1コース	催吐性リスク
Lapatinib+Trastuzumab	21日間	最小度催吐性リスク

薬剤		用量	用法	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
ラパチニブ		1000mg/日	1×空腹時 (食事の前後1時間は避ける)	●—————▶●																					
滴下順	薬剤	用量	ルート	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	生理食塩液	100mL	メイン	30分	●																				
2	トラスツズマブ* 生理食塩液	初回8mg/kg 維持6mg/kg 250mL	メイン	1時間30分	●																				
3	生理食塩液	50mL	メイン	15分	●																				

*初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。